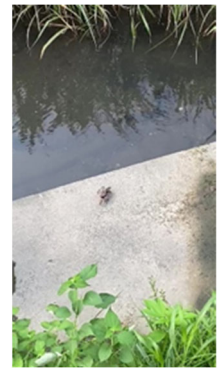


詩・和歌・俳句・川柳 その745 photo by Kumi (カラー写真 HP に掲載)

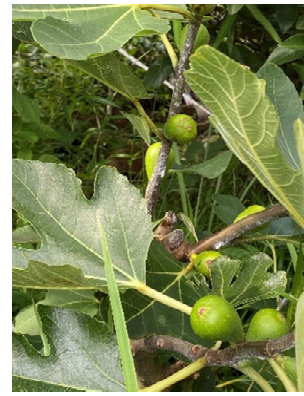
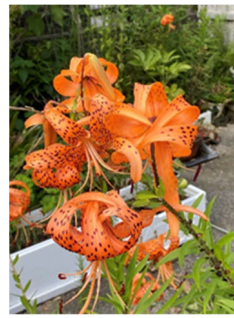
- ☆何処からか耳触る音街掩ふ (ケラの鳴き声=おけら=蟻蛄(ろうこ))
- ☆「あれナニ？」地面より「ジイ」とミミズ鳴く (ミミズ鳴く=ケラ)
- ☆「ジイ」と土中「ジイ」と樹上より (「ジイ」:ケラ/「ジイ」:ニイニイゼミ)
- ☆次は「ジージリジリ」と暑く油蟬 (「ジージリジリ」:油蟬=アブラゼミ)
- ☆山百合の一茎咲かす参道に (神武寺)
- ☆川床のコンクリをジジと歩くカニ (田越川)
- ☆鷹乃学習(たかわざまなぶ)時期に子ら休むかな (春夏)
- ☆「生涯学習の初め」なりきに (四季)



植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その746 photo by Kumi (カラー写真 HP に掲載)

- ☆雌蕊雄蕊剥き出しの鬼百合さん (7月 人家鉢植え/天蓋百合=てんがいゆり=オニユリの別称)
- ☆青々と無花果の実見つけたり (神武寺参道入口)
- ☆スズメバチと争ひし無花果の実 (母 55年前)
- ☆妻もほころぶ無花果の生と干し (干し:トルコ産)
- ☆化粧品美容院代ゼロ行進 (続く妻)
- ☆全く化粧せず信じられないと (みたいだね)
- ☆日に焼けシミ一つなく肌つやつや (逗子の街)
- ☆世に入れられない作法で生きる貴女 (お見事)
- ☆スカートピアスに凝った肩凝った (作った妻)
- ☆福田恆存全集をネットで買ふ妻 (買った妻)

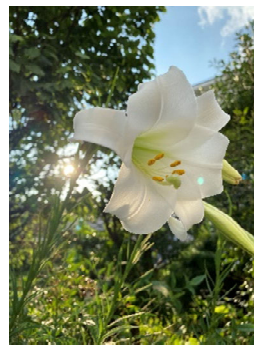


植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚

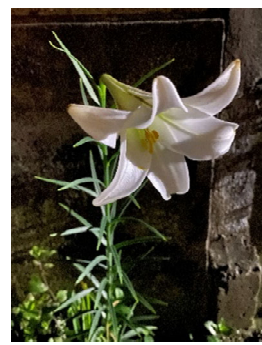
詩・和歌・俳句・川柳 その746 photo by Kumi (カラー写真 HP に掲載)

- ☆坂上の一息つくノウゼンカズラ (7月)
- ☆タカサゴやアブラとヒグラシ唱和す (8月)
- ☆高砂百合路傍に敷石に咲く (8月)
- ☆朝に昼に夜に咲くタカサゴユリ (8月)
- ☆夏はつとめて包丁砥ぎ刃光る (8/2 朝・夫)
- ☆ぜいごわたえら鱈の煮つけ二匹 (8/2 夜・夫)
- ☆砥石凹み刃を出し四十年余 (父から贈られし)
- ☆髪の毛一本鮮やかに切る父 (父のカミ技)

昼



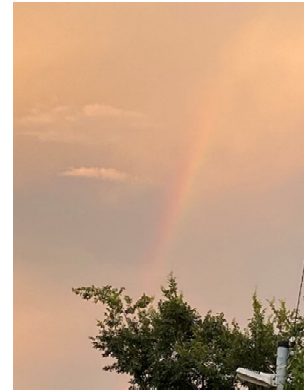
夜



植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その748 photo by Kumi (カラー写真 HP に掲載)

- ☆コロナ鉄棒背筋伸び命伸び (毎晩帰宅後運動公園へ妻と散歩開始)
- ☆コロナ免疫とウイルスの意味論 (多田富雄/山内一也の著作)
- ☆コロナ女生徒と弾むハイタッチ (セイナ&セイア)
- ☆コロナ西瓜岩塩ガラスの大皿 (川上貴久氏の作品)
- ☆八月の虹曇り空の一角に (8/13 息子の誕生日)
- ☆急いで道横切る猫集会か (8月某日夜)
- ☆友訪ねるネコ飛び跳ね弾み鳴く (妻ピックリ)
- ☆中空の空中に伸びる茎竹似草 (夜 竹似草:タケニグサ)
- ☆夏気になる草知る今日ささやき草 (ささやき草=タケニグサ)
- ☆たった一葉の残暑見舞い涼し (小3コウタロウくんよりフィールドアスレチック体験記届き感激!)
- ☆スイカ甘くなる八月の終わりに (暑かったね!夏)



植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚  
植魚